

～松山の思い 届けたい～

ふるさと

松山便

「ふるさと松山便」では、四国・松山の旬な情報をお届けするとともに、皆さんの交流の場として、その他様々な情報を発信していきます。

8月号 Vol.24

一今月の表紙一

「この街で」 in 「トワエモワ」 CD発売記念ライブ

7月 21日、「この街で」をフォークデュオ「トワエモワ」が歌ったCDが発売になり、松山市内の書店でミニライブが行われました。



ファンのサインに応じる芥川澄夫さん(右)と白鳥英美子さん(左)

7月 県内の動き

- ・松山自動車道の松山インターチェンジ以南の無料化社会実験で、愛媛県の広域連携事業として「スタンプラリー」を実施(5日)
- ・第22回参院選愛媛選挙区 自民党現職の山本順三氏が当選(11日)

松山ニュース

- ・坂の上の雲ミュージアムが、来館者50万人突破を記念し、7月中の土曜日に浴衣や着物の来館者を入場無料にする「浴衣でミュージアム」を実施する(3日)
- ・区画整理事業が進む南江戸町の自動車整備工場跡地から、基準値の約3倍の鉛が検出日(5日)
- ・「雨が降ってもご安心を」JTB協定旅館ホテル連盟が、道後温泉本館周辺2箇所に、観光客に無料で傘を貸し出す「おもてなしの傘」を設置(5日)
- ・松山市沖の海底で旧日本軍の爆弾が見つかる(6日)
- ・道後温泉に格安ホテル「道後やや」が開業、1泊7,300円とビジネスホテル並みの低価格設定(14日)
- ・夏目漱石ゆかりの「愚陀仏庵」が土砂で押し流され全壊したことを受け、松山市が子規記念博物館の「愚陀仏庵」再現コーナーを開放(24日)

～まつやま情熱大陸～

「ことば事業の誕生が松山の新しい文化を開く

松山市国際文化振興課

白形 誠基さん 」

お知らせ

- ・坂の上の雲スペシャルドラマ館と松山城のお得なセット券発売中

～まつやま情熱大陸～

「ことば事業の誕生が松山の新しい文化を開く」

白形 誠基さん（国際文化振興課）インタビュー

ありとあらゆる分野の第一線で活躍する松山人にスポットを当て、その人の素顔に迫る「まつやま情熱大陸」。今回のゲストはことばを通して松山を全国に発信する国際文化振興課の白形誠基さんです。



白形 誠基さん
Seiki Shirakata
(ことばのちから担当)

イベントの総合プロデュースも行う白形さん

白形 まずは、「あなたのことばで元気になれる。だから、ことば大募集」と銘打ち、全国からことばの募集を行いました。この呼びかけに、全国から一万二千点の「ことば」が寄せられ、松山市はことばの溢れる街となりました。

白形 始まりは10年前になります。21世紀という新たな時代に向けて、松山市は、未来に伝えたい、わたしたちの財産は何かと考えました。松山は子規を生んだ俳句の街、小説「坊っちゃん」、「坂の上の雲」の舞台となつた文学の街です。そこでひらめいたのが、先人たちが遺してくれた「文学＝ことば」。これをテーマにした松山ならではのまちづくりをしてみようということになつたのです。

――具体的な取り組みとして

白形 「先月から新たに『ことば募集』を始めました。報発信しているところです。

白形 前回の募集から10年が経過しました。時代は大きく変貌しています。世代間の断絶や、個人主義化が加速しつつあります。この「ことば」が寄せられ、松山市はことばの希薄化による問題も生じているよ

車両や、商店街の街灯、松山城ロープウェイ安い全ネット上等に展示し、「ことばを大切にするまち・松山」を全国に向けて情報発信しているところです。



松山市内をことばの電車が駆け巡る

麻由子さんと即興的に曲をつけて、「ことばのミュージアム」と題し、全国から応募の街で」が誕生。平成18年度からは「街はことばのミュージアム」と題し、あつた「ことば」を市内電車の

全国から応募の街で」が誕生。平成18年度からは「街はことばのミュージアム」と題し、あつた「ことば」

の街で」が誕生。平成18年度からは「街はことばのミュージアム」と題し、あつた「ことば」を市内電車の

市役所ロビーにバナーとして掲出していいた、ことば募集の優秀作品「恋し、結婚し、母になったこの街で、おばあちゃんになりたい！」ということばからイメージして詞を作り、集いの舞台上で三宮

来松していた作家の新井満さんが、松山に登場。この歌は、松山の街で、おばあちゃんになりたい！」ということばからイメージして詞を作り、集いの舞台上で三宮

に思います。こういった時代だからこそ、人と人をつなげることばの大切さを、今一度見直すべきではないでしょうか。

そのような思いから、「ことばの

ちから」が必要と考え、「絆」をテーマに、今の時代に相応しい「ことば」を集めることにいたしました。



募集チラシ

――白形さんにとって、「ことばのちから事業」とは

白形 俳句甲子園は高校生が、互いの俳句を披露し、互いの句に対し質疑応答を通して鑑賞し理解を深める。響け！言霊「ことばのがっしおう」コンクールは、小・中学生を対象に、一つの作品を複数人で読み伝えることにより、チームワークと協働性を育む。これらは、「ことば」が持つ、不思議な力や魅力を肌で感じてもらい、会場に集まつた観客に感動を与える全国でも例をみないイベントです。言うまでもなく、これからは地方の時代です。全国どこにも負けない文学的土壌を活かした新たな取り組みが、まさに松山市が仕掛ける「ことばのちから事業」だと考えています。

お知らせ

・坂の上の雲スペシャルドラマ館と松山城のお得なセット券発売中

スペシャルドラマ館、ロープウェイ・リフト往復乗車券、松山城観覧券 通常1,600円が1,300円に

お問い合わせ 松山市観光産業振興課 TEL 089-948-6558

お問い合わせ

松山市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階

TEL 03-3262-0974 E-mail: tokyo@city.matsuyama.ehime.jp